

中村なおあき 後援会会報 No.5

発行: 中村なおあき後援会 〒393-0076 長野県諏訪郡下諏訪町矢木西 22



座談会の前日 14 日、日経新聞に銀行員時代から私が心配していた記事が掲載されました。

土地開発公社の塩漬け土地問題。10 億円を超える土地を所有している 5 町村のなかに下諏訪が含まれていました。

その金利分だけでも町民サービスに廻すことができれば・・・。

そして座談会。

陽も短くなり、夜道もあぶないことより第 2 回の座談会は昼間おこないました。エアコンの効かぬ会議室で様々な意見討論ができましたことお礼申し上げます。

皆さんの意見を聞きながら私が感じたこと・・・

財務	39人	歳出削減だけではどうにもならない。本当に温泉会計で借金は返せるのか？
高齢化	24人	現状のサービスのどこが不満なのか（サービス内容→試算→予算作成）
医療・福祉	24人	国の政策に対して下諏訪独自で何が出来るのか？
役場内改革	24人	町民の視点から見る役場内と役場内から見る町民とのギャップとは何なのか？
産業	15人	下請からの脱出をするにはどうすればよいのか？
合併	14人	相手あっての合併。今の下諏訪の魅力を相手はどう評価するのか？
観光	14人	観光客は何を求め下諏訪に来るのか？
人口	11人	人口が減少する原因は何か？
税收	10人	産業の衰退と人口減少に歯止めを掛けるにはどうすればよいのか？
議会	8人	議員の声≠町民の声 となっていないか？
雇用	8人	雇用を生むという発想。
防災	5人	水害の原因は何処にあるのか？
子育て	3人	何故子供の手を引いて保育園に行けないのか？（人口だけの問題なのか？）

すべてはお金が必要であること。

歳出削減だけでは限界があること。

だからまずは自ら給料を $\frac{1}{3}$ にすること。

元銀行員からの視点で、この町に今、私ができる確かなこと。

すべての問題に対して答えを解き明かすことができそうなことも・・・

あと 2 ヶ月。

第3回座談会のお知らせ

◆日時 平成 24 年 9 月 28 日(金) 夜 7 時 ~

◆場所 町屋敷公会所(下諏訪町 2129-23)

お問い合わせは...

☎ 78-7596

もしくは 090-4153-9103